

## 第405回

田代神社の算額（関流和算家谷幽斎先生遺弟・土屋武三郎信義奉納），弘化2年（1845）

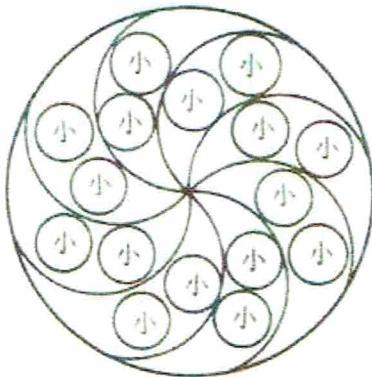
### 第1問題

大円内に中心を通る等しい半円弧を作りそれらの間に2個の小円を書く。  
弧の個数は不明（例えば8個の弧で5個以下ではない）大円と小円の直径を知り円弧の数を求めよ。

術文（答）

$$\text{弧背数} = \left[ \frac{\pi(\text{大円径})}{\sqrt{2}(\text{小円径})} - 3.3 \right]$$

注 [ ] はガウスの記号



証明 大円をO(R), 半円弧の間の2円をP(r), Q(r)とおき,  
図のように記号を付ける。

計算を簡単にするために,  $R:r=1:\frac{r}{R}$  であるから, 大円の半径を1,

小円の半径を  $r' = \frac{r}{R}$  とおく。

円弧の数を弧背数と解釈する。

弧背数が  $n$  ( $n \geq 6$ ) のとき,  $\angle COA = \frac{2\pi}{n}$  であるから,  $\angle DOF = \frac{\pi}{n}$

$OD = \frac{1}{2}$  より,  $DF = \frac{1}{2} \sin \frac{\pi}{n}$  であるから,  $DB = 2DF = \sin \frac{\pi}{n}$

$\triangle PGB$ について,  $PG = r'$ ,  $PB = r' + \frac{1}{2}$  であるから,

$$\text{三平方の定理により}, GB = \sqrt{\left(r' + \frac{1}{2}\right)^2 - r'^2} = \sqrt{r' + \frac{1}{4}}$$

$$\triangle PGD \text{について}, GD = GB - DB = \sqrt{r' + \frac{1}{4}} - \sin \frac{\pi}{n},$$

$PD = \frac{1}{2} - r'$  であるから,

$$\text{三平方の定理により}, \left( \sqrt{r' + \frac{1}{4}} - \sin \frac{\pi}{n} \right)^2 + r'^2 = \left( \frac{1}{2} - r' \right)^2$$

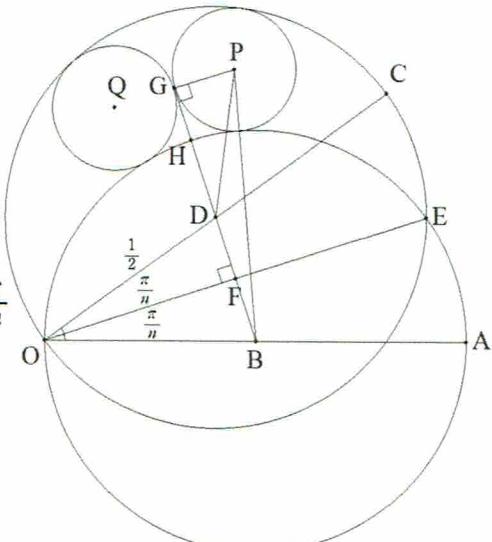
$$\text{整理すると}, 2r' + \sin^2 \frac{\pi}{n} = \sqrt{4r' + 1} \sin \frac{\pi}{n}$$

$$\text{両辺を2乗して整理すると}, 4r'^2 + \sin^4 \frac{\pi}{n} = \sin^2 \frac{\pi}{n}$$

$$r'^2 = \frac{1}{4} \sin^2 \frac{\pi}{n} \left( 1 - \sin^2 \frac{\pi}{n} \right) = \frac{1}{4} \sin^2 \frac{\pi}{n} \cos^2 \frac{\pi}{n}$$

$$r' > 0 \text{ より}, r' = \frac{r}{R} = \frac{1}{2} \sin \frac{\pi}{n} \cos \frac{\pi}{n} = \frac{1}{4} \sin \frac{2\pi}{n} \quad \dots \text{①である。}$$

①で  $n = 6, 7, \dots, 15$  のときの  $\frac{r}{R}$  の値を計算すると次の通り。（小数第5位四捨五入）



$n$	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
$\frac{r}{R}$	0.2165	0.1955	0.1768	0.1607	0.1469	0.1352	0.125	0.1162	0.1085	0.1017

…表①

$n \geq 3$  のとき,  $\left[ \frac{\pi}{\sin \frac{\pi}{n}} \right] = n$  (定理\*) である。この式を参考にして,

[1]  $\frac{2\pi}{\sin \frac{2\pi}{n}}$  について,  $n=6, 7, \dots, 30$  の値を計算してみると,

```
In[1]= Table[N[2 π / Sin[2 π / n]], {n, 6, 30}]
```

```
Out[1]= {7.2552, 8.0365, 8.88577, 9.7749, 10.6896, 11.6217, 12.5664, 13.5203, 14.4813, 15.4478, 16.4188, 17.3933, 18.3708, 19.3508, 20.3328, 21.3166, 22.3019, 23.2886, 24.2764, 25.2651, 26.2548, 27.2452, 28.2364, 29.2281, 30.2205}
```

これらの値を四捨五入すると, 7, 8, 9, 10, 11, …となり, 6, 7, 8, 9, 10, …とならない。

[2]  $\frac{2\pi}{\sin \frac{2\pi}{n}} - 1$  について,  $n=6, 7, \dots, 30$  の値を計算してみると,

```
In[2]= Table[N[2 π / Sin[2 π / n] - 1], {n, 6, 30}]
```

```
Out[2]= {6.2552, 7.0365, 7.88577, 8.7749, 9.68959, 10.6217, 11.5664, 12.5203, 13.4813, 14.4478, 15.4188, 16.3933, 17.3708, 18.3508, 19.3328, 20.3166, 21.3019, 22.2886, 23.2764, 24.2651, 25.2548, 26.2452, 27.2364, 28.2281, 29.2205}
```

これらの値を四捨五入すると, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 13, …となり,  $n=13$  まで一致する。

[3]  $\frac{2\pi}{\sin \frac{2\pi}{n}} - 0.8$  について,  $n=6, 7, \dots, 30$  の値を計算してみると,

```
In[3]= Table[N[2 π / Sin[2 π / n] - 0.8], {n, 6, 30}]
```

```
Out[3]= {6.4552, 7.2365, 8.08577, 8.9749, 9.88959, 10.8217, 11.7664, 12.7203, 13.6813, 14.6478, 15.6188, 16.5933, 17.5708, 18.5508, 19.5328, 20.5166, 21.5019, 22.4886, 23.4764, 24.4651, 25.4548, 26.4452, 27.4364, 28.4281, 29.4205}
```

これらの値を四捨五入すると, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 22…となり,  $n=22$  まで一致する。

よって,  $x$  を四捨五入した値を  $(x)$  で表すと,  $n=6, 7, \dots, 22$  について,  $\left\langle \frac{2\pi}{\sin \frac{2\pi}{n}} - 0.8 \right\rangle = n$  となる。

①より,  $\sin \frac{2\pi}{n} = \frac{4r}{R}$  であるから,  $n = \left\langle \frac{2\pi}{\frac{4r}{R}} - 0.8 \right\rangle = \left\langle \frac{\pi R}{2r} - 0.8 \right\rangle$

従って, 弧度数 =  $\left\langle \frac{\pi(大円径)}{2(小円径)} - 0.8 \right\rangle$  番

ただし、 $(x)$ は $x$ を四捨五入した値を表し、弧背数 $n$ が $n=6, 7, \dots, 22$ まで正しく値を返すことができる。

**補足** 術文に 3.3 という小数第 1 位までの小数があるので、答にも小数第 1 位までの 0.8 を用いた。

なお、 $n \geq 23$  については現実的な問題として考える必要はないと思う。

$6 \leq n \leq 13$  の範囲で十分なら、弧背数 $=\left\langle \frac{\pi(\text{大円径})}{2(\text{小円径})} - 1 \right\rangle$  で値は返される。

※四捨五入を表す記号でなく、ガウス記号を用いた式については分からなかった。

#### 【参考文献】

\* 幾何学大辞典 補巻 I (岩田至康編 横書店 1988) p.349 に証明があるが、この定理をそのまま使用していない  
(参考にしただけ) なので証明は省略する。

**注意** 術文(答)は表①を満たさないので、術文はミスプリントである。

$\therefore$  弧背数 $=\left[ \frac{\pi(\text{大円径})}{\sqrt{2}(\text{小円径})} - 3.3 \right]$ について、弧背数を $n$  ( $n \geq 6$ )、大円の半径を 1、小円の半径を $r'$  とすると、

$$n = \left[ \frac{\pi \cdot 1}{\sqrt{2} r'} - 3.3 \right] \text{より}, \quad \frac{\pi}{\sqrt{2} r'} - 3.3 \leq n < \frac{\pi}{\sqrt{2} r'} - 3.3 + 1 \quad \therefore \frac{\pi}{\sqrt{2}(n+3.3)} \leq r' < \frac{\pi}{\sqrt{2}(n+2.3)}$$

$n=6, 7, 8, \dots$  を代入して、小円の半径の値の範囲を求めてみる。

$n=6$  のとき、 $0.238865 \leq r' < 0.267644$

$n=7$  のとき、 $0.215674 \leq r' < 0.238865$  ← 表①で $n=6$  のとき、 $r'=0.2165$

$n=8$  のとき、 $0.196588 \leq r' < 0.215674$

$n=9$  のとき、 $0.180605 \leq r' < 0.196588$  ← 表①で $n=7$  のとき、 $r'=0.1955$

$n=10$  のとき、 $0.167026 \leq r' < 0.180605$  ← 表①で $n=8$  のとき、 $r'=0.1768$

$n=11$  のとき、 $0.155346 \leq r' < 0.167026$  ← 表①で $n=9$  のとき、 $r'=0.1607$

$n=12$  のとき、 $0.145192 \leq r' < 0.155346$

.....

(2021/10/14 ジョーカー)

## 第405回 第1問題の術文(答)の検証

弧背数 =  $\left[ \frac{\pi(\text{大円径})}{\sqrt{2}(\text{小円径})} - 3.3 \right]$ について、弧背数を  $n$  ( $n \geq 6$ )、大円の半径を 1、小円の半径を  $r$  とすると、

$$n = \left[ \frac{\pi \cdot 1}{\sqrt{2}r} - 3.3 \right] \text{より, } \frac{\pi}{\sqrt{2}r} - 3.3 \leq n < \frac{\pi}{\sqrt{2}r} - 3.3 + 1 \quad \therefore \frac{\pi}{\sqrt{2}(n+3.3)} \leq r < \frac{\pi}{\sqrt{2}(n+2.3)}$$

$n = 6, 7, 8, \dots$  を代入して、小円の半径の値の範囲を求める。ただし、小数の値は近似値である。

$n=6$  のとき、 $0.238865 \leq r < 0.267644$

$n=7$  のとき、 $0.215674 \leq r < 0.238865 \quad \leftarrow c=0.216 \quad n=6$

$n=8$  のとき、 $0.196588 \leq r < 0.215674$

$n=9$  のとき、 $0.180605 \leq r < 0.196588 \quad \leftarrow c=0.195 \quad n=7$

$n=10$  のとき、 $0.167026 \leq r < 0.180605 \quad \leftarrow c=0.175 \quad n=8$

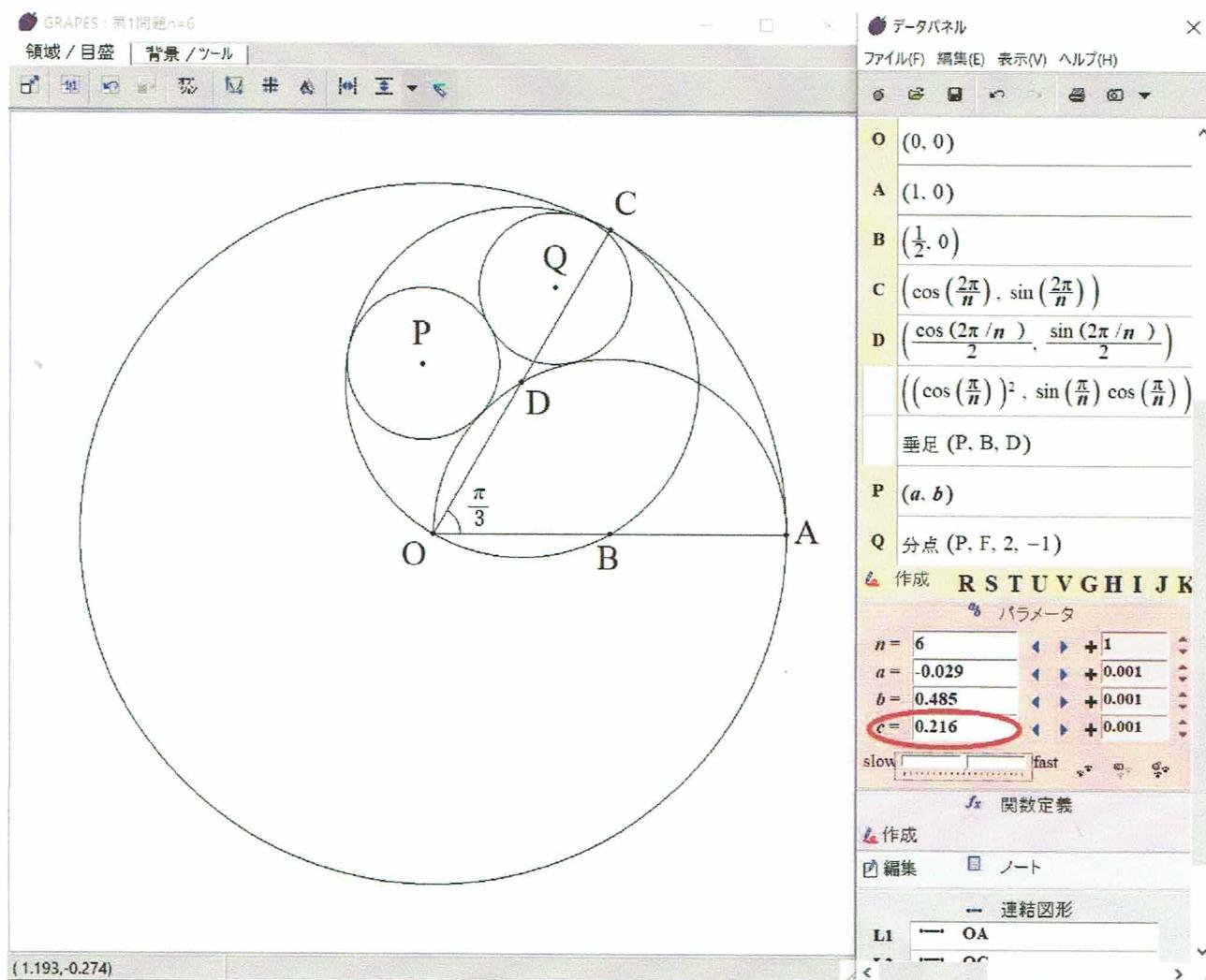
$n=11$  のとき、 $0.155346 \leq r < 0.167026 \quad \leftarrow c=0.160 \quad n=9$

$n=12$  のとき、 $0.145192 \leq r < 0.155346$

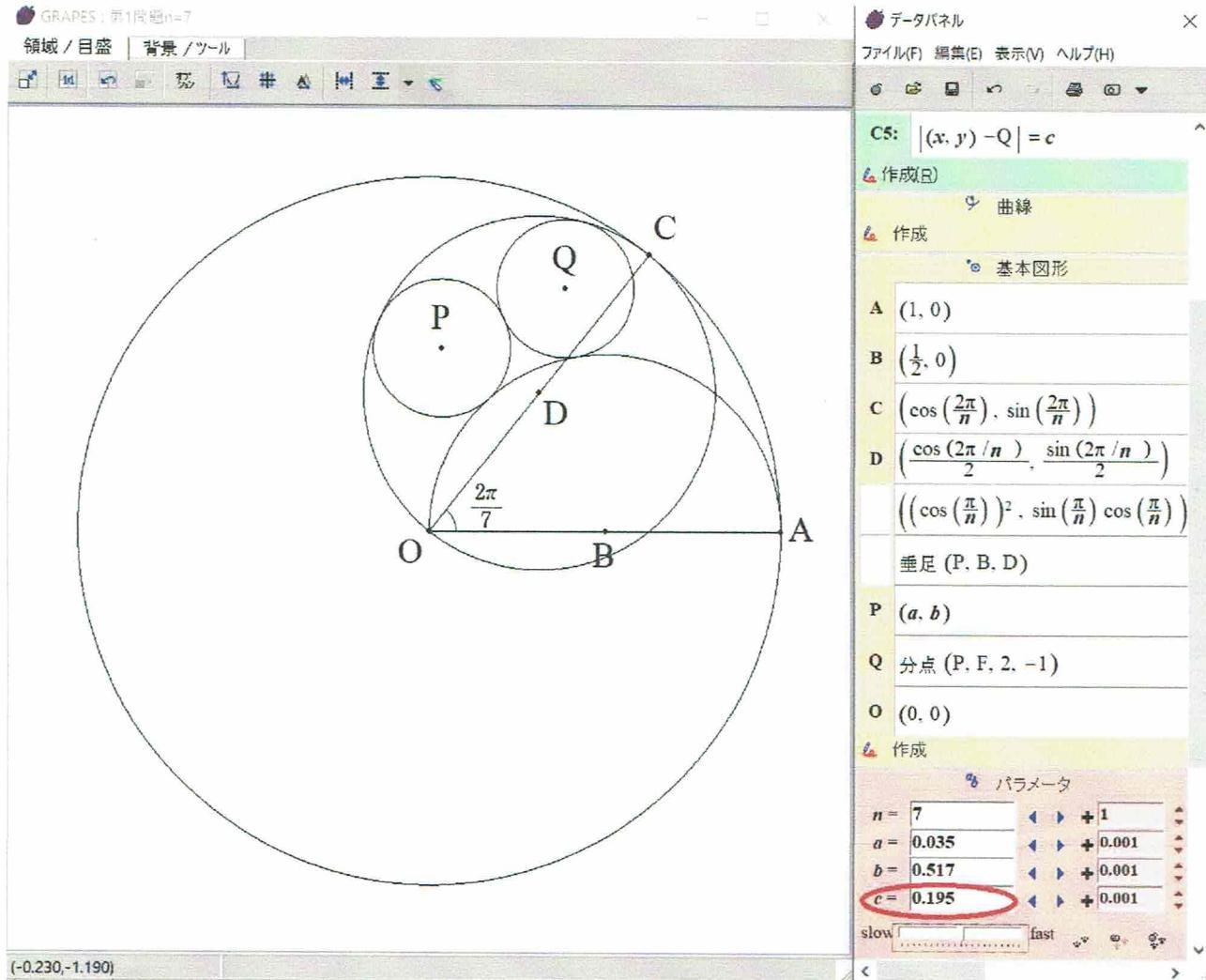
.....

【検証】実際に  $n=6, 7, 8, 9$ の場合について、図をGrapesを用いて描いてみる。図で  $c$  の値が小円の半径である。

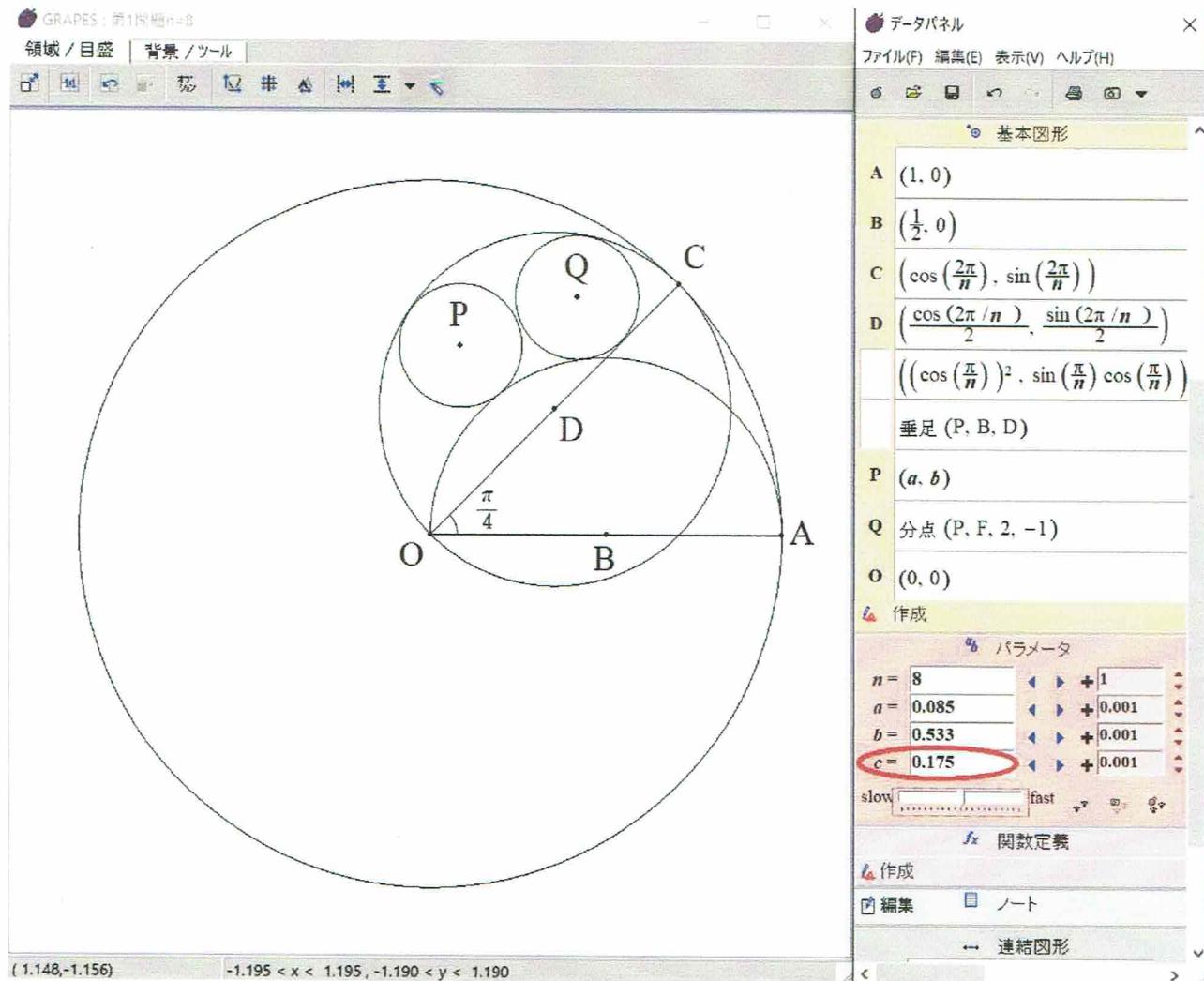
(1)  $n=6$  のとき、 $c=0.216$



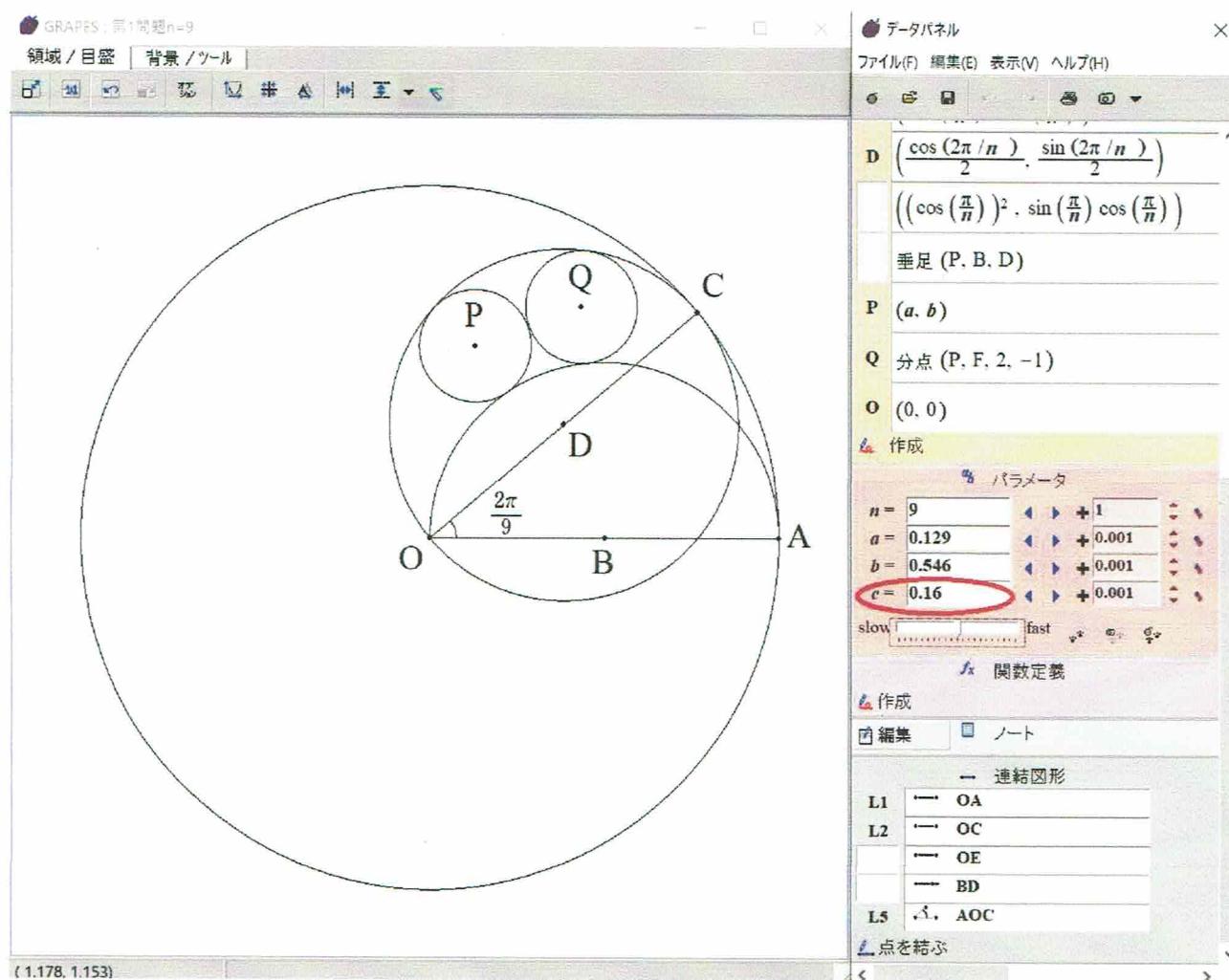
(2)  $n=7$  のとき,  $c \approx 0.195$



(3)  $n=8$  のとき,  $c \approx 0.175$



(3)  $n=9$  のとき,  $c \approx 0.160$



以上により、術文（答）は修正が必要である。

(2021/10/13 ジョーカー)

## 第405回

田代神社の算額（関流和算家谷幽斎先生遺弟・土屋武三郎信義奉納），弘化2年（1845）

### 第2問題

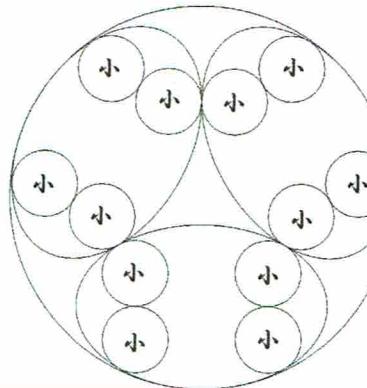
円に等辯円3個を入れる（辯円の短径の端で接する円は最小円）。

それらの辯円の中へ12個の小円を入れる。

外円の直径を知つて小円の半径を求めよ。

術文（答）

$$\text{小円径} = \frac{9}{7}(1 - \sqrt{0.75}) \times (\text{外円径})$$



証明 与えられた図を座標平面上において考える。

下側の辯円の中心を原点O、長径をx軸、短径をy軸上におく。

3個の辯円の長径の延長の交点を図のようにA, B, Cとする。

題意より△ABCは正三角形となり、AO, BD, CEは角の

二等分線であるからFは内心となる。図に示す小円の一つの中心をO<sub>1</sub>とする。

∠FCO=30°であるから、∠O<sub>1</sub>CH=15°である。

$$\text{次に中心がOである辯円の方程式を, } \frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1 \quad \dots \text{①}$$

とおく。

F(0, f)とおくと、C( $\sqrt{3}f, 0$ )であるから、

$$\text{直線FCの方程式は, } \frac{x}{\sqrt{3}f} + \frac{y}{f} = 1$$

$$\therefore x = \sqrt{3}(f - y) \quad \dots \text{②}$$

$$\text{②を①に代入すると, } \frac{\{\sqrt{3}(f-y)\}^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1$$

$$\text{分母を払って整理すると, } (a^2 + 3b^2)y^2 - 6b^2fy + b^2(3f^2 - a^2) = 0 \quad \dots \text{③}$$

このyについての2次方程式の判別式をDとすると、接するからD=0である。

$$\frac{D}{4} = \{-3b^2f\}^2 - (a^2 + 3b^2) \cdot b^2(3f^2 - a^2) = a^2b^2(a^2 + 3b^2 - 3f^2) = 0 \text{ より, } f^2 = \frac{a^2 + 3b^2}{3}$$

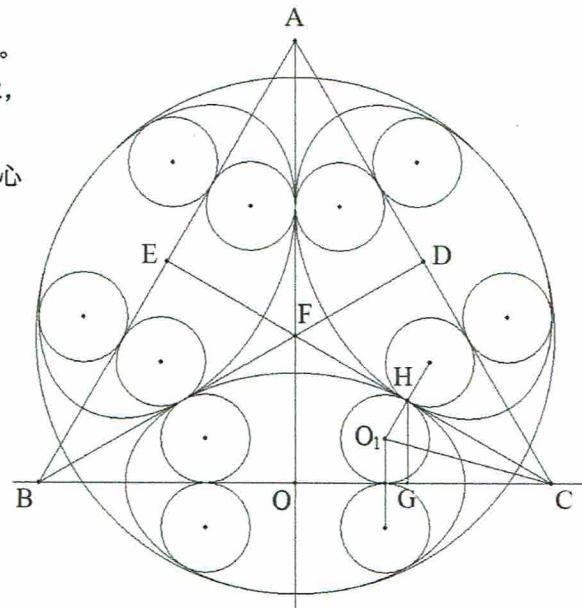
$$f > 0 \text{ より, } f = \sqrt{\frac{a^2 + 3b^2}{3}} \quad \therefore C(\sqrt{a^2 + 3b^2}, 0)$$

$$\text{このとき, ③より, } y = \frac{3b^2f}{a^2 + 3b^2} = \frac{\sqrt{3}b^2}{\sqrt{a^2 + 3b^2}}$$

$$\text{②より, } x = \frac{a^2}{\sqrt{a^2 + 3b^2}} \quad \therefore H\left(\frac{a^2}{\sqrt{a^2 + 3b^2}}, \frac{\sqrt{3}b^2}{\sqrt{a^2 + 3b^2}}\right)$$

$$CH = \sqrt{\left(\frac{a^2}{\sqrt{a^2 + 3b^2}} - \sqrt{a^2 + 3b^2}\right)^2 + \left(\frac{\sqrt{3}b^2}{\sqrt{a^2 + 3b^2}}\right)^2} = \frac{2\sqrt{3}b^2}{\sqrt{a^2 + 3b^2}}$$

$$\triangle O_1CH \text{ は直角三角形で, } \tan 15^\circ = \frac{\tan 60^\circ - \tan 45^\circ}{1 + \tan 60^\circ \tan 45^\circ} = \frac{\sqrt{3} - 1}{1 + \sqrt{3} \cdot 1} = 2 - \sqrt{3} \text{ あるから,}$$



$$\text{小円の半径 } r \text{ は, } r = O_1H = CH \tan 15^\circ = \frac{2\sqrt{3}b^2}{\sqrt{a^2+3b^2}} \cdot (2 - \sqrt{3}) = \frac{2(2\sqrt{3}-3)b^2}{\sqrt{a^2+3b^2}} \quad \dots \text{④}$$

$$\text{外円の半径を } R \text{ とおくと, 曲率円であるから, } R = \frac{a^2}{b} \quad \dots \text{⑤}$$

$$R = f + b \text{ より, } \frac{a^2}{b} = \sqrt{\frac{a^2+3b^2}{3}} + b \quad \therefore \left(\frac{a}{b}\right)^2 = \frac{7}{3}$$

$$\begin{aligned} \text{④, ⑤より, } \frac{2r}{2R} &= \frac{r}{R} = \frac{\frac{2(2\sqrt{3}-3)b^2}{\sqrt{a^2+3b^2}}}{\frac{a^2}{b}} = \frac{2(2\sqrt{3}-3)b^3}{a^2\sqrt{a^2+3b^2}} = \frac{2(2\sqrt{3}-3)}{\left(\frac{a}{b}\right)^2\sqrt{\left(\frac{a}{b}\right)^2+3}} = \frac{2(2\sqrt{3}-3)}{\frac{7}{3}\sqrt{\frac{7}{3}+3}} = \frac{9(2-\sqrt{3})}{14} \\ &= \frac{9}{7}(1 - \sqrt{0.75}) \quad (\approx 0.172253) \end{aligned}$$

よって, 小円径 =  $\frac{9}{7}(1 - \sqrt{0.75}) \times (\text{外円径})$  箇

(2021/9/21 ジョーカー)

## 第405回

田代神社の算額（関流和算家谷幽斎先生遺弟・土屋武三郎信義奉納），弘化2年（1845）

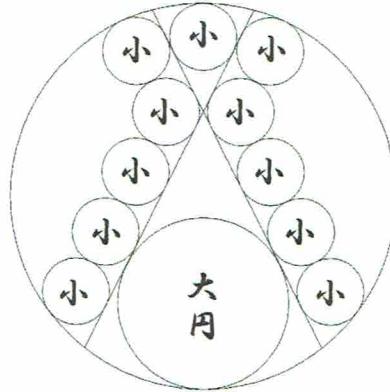
### 第3問題

円に相交わる等しい2つの弦を引き、小円11個と大円1個を入れる。

小円の直径を知って大円の直径を求めよ。

術文（答）

$$\text{大円径} = \frac{61 - 9\sqrt{5}}{16} \cdot (\text{小円径})$$



### 証明

外円を  $O(R)$ 、外円に相交わる等しい2つの弦を  $AB$ ,  $CD$ 、その交点を  $P$ 、  
 $\angle APC$  を二等分する直径を  $EF$  とし、大円を  $O_1(r_1)$ 、小円を  $O_2(r_2)$ ,

$O_3(r_2)$ ,  $O_4(r_2)$ ,  $O_5(r_2)$ ,  $O_6(r_2)$ ,  $O_7(r_2)$  とおく。なお、小円は  
 $EF$  に関して対称だから、右側の小円だけに記号を付ける。

$O_4$  から  $AB$  に下した垂線の足を  $G$ ,

$O_2$  から  $CD$  に下した垂線の足を  $H$ ,

$O_1$  から  $AB$  におろしら垂線の足を  $I$ ,

$O_3$ ,  $O_7$  から  $EF$  に下した垂線の足をそれぞれ  $J$ ,  $K$ ,

$O_4$  から  $JO_3$ ,  $KO_7$  に下した垂線の足をそれぞれ  $L$ ,  $M$  とする。

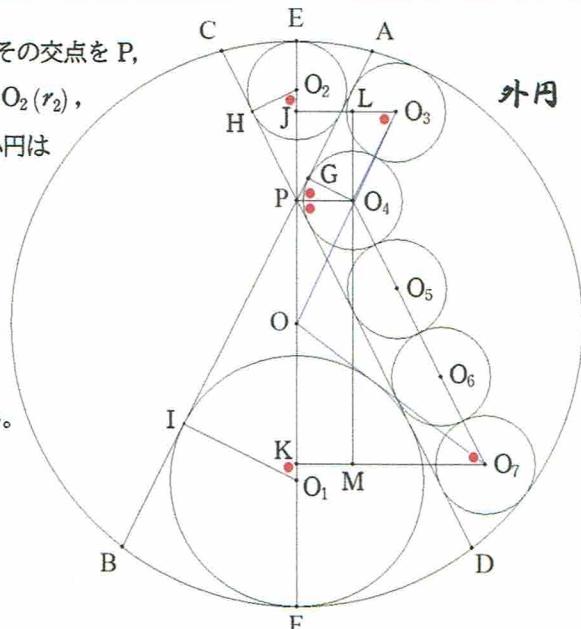
また、 $\angle APD = 2\theta$  とおくと、 $\angle APO_4 = \angle DPO_4 = \theta$

$O_3O_4 \parallel AB$ ,  $LO_3 \parallel PO_4$  であるから、

$\angle APO_4 = \angle O_4O_3L = \angle O_4O_7M = \theta$ ,

また、 $\angle PO_2H = 90^\circ - \angle O_2PH = 90^\circ - \angle OPD = \angle DPO_4 = \theta$

$\triangle PO_1I \sim \triangle PO_2H$  より、 $\angle PO_1I = \angle PO_2H = \theta$  である。



次に、 $O_4G = O_2H = r_2$  であるから、 $PO_4 = \frac{r_2}{\sin \theta}$ ,  $PO_2 = \frac{r_2}{\cos \theta}$  また、 $O_1I = r_1$  であるから、 $PO_1 = \frac{r_1}{\cos \theta}$

$$EF = EO_2 + O_2P + PO_1 + O_1F = r_2 + \frac{r_2}{\cos \theta} + \frac{r_1}{\cos \theta} + r_1 = 2R \text{ より}, \quad R = \frac{1}{2} \left( 1 + \frac{1}{\cos \theta} \right) (r_1 + r_2) \quad \dots \text{①}$$

$\triangle O_4O_3L$  について、 $O_4O_3 = 2r_2$  であるから、 $LO_3 = 2r_2 \cos \theta$ ,  $LO_4 = 2r_2 \sin \theta$

$\triangle O_4O_7M$  について、 $O_4O_7 = 6r_2$  であるから、 $MO_7 = 6r_2 \cos \theta$ ,  $MO_4 = 6r_2 \sin \theta$

$$PO = EO - EO_2 - O_2P = R - r_2 - \frac{r_2}{\cos \theta} = \frac{1}{2} \left( 1 + \frac{1}{\cos \theta} \right) (r_1 + r_2) - r_2 \left( 1 + \frac{1}{\cos \theta} \right) \quad (\because \text{①})$$

$$= \frac{1}{2} \left( 1 + \frac{1}{\cos \theta} \right) (r_1 - r_2) \text{ であるから,}$$

$$\triangle OO_3J \text{ について, } JO_3 = PO_4 + LO_3 = \frac{r_2}{\sin \theta} + 2r_2 \cos \theta, \quad JO = LO_4 + PO = 2r_2 \sin \theta + \frac{1}{2} \left( 1 + \frac{1}{\cos \theta} \right) (r_1 - r_2)$$

$$\text{三平方の定理により, } OO_3^2 = JO_3^2 + JO^2 = \left( \frac{r_2}{\sin \theta} + 2r_2 \cos \theta \right)^2 + \left[ 2r_2 \sin \theta + \frac{1}{2} \left( 1 + \frac{1}{\cos \theta} \right) (r_1 - r_2) \right]^2 \quad \dots \text{②}$$

$$\triangle OO_7K \text{について, } KO_7 = PO_4 + MO_7 = \frac{r_2}{\sin \theta} + 6r_2 \cos \theta, \quad KO = MO_4 - PO = 6r_2 \sin \theta - \frac{1}{2} \left(1 + \frac{1}{\cos \theta}\right) (r_1 - r_2)$$

$$\text{三平方の定理により, } OO_7^2 = KO_7^2 + KO^2 = \left(\frac{r_2}{\sin \theta} + 6r_2 \cos \theta\right)^2 + \left(6r_2 \sin \theta - \frac{1}{2} \left(1 + \frac{1}{\cos \theta}\right) (r_1 - r_2)\right)^2 \quad \dots \textcircled{3}$$

$OO_7 = OO_3$ であるから, ②, ③より,

$$\begin{aligned} & \left(\frac{r_2}{\sin \theta} + 6r_2 \cos \theta\right)^2 + \left(6r_2 \sin \theta - \frac{1}{2} \left(1 + \frac{1}{\cos \theta}\right) (r_1 - r_2)\right)^2 \\ &= \left(\frac{r_2}{\sin \theta} + 2r_2 \cos \theta\right)^2 + \left[2r_2 \sin \theta + \frac{1}{2} \left(1 + \frac{1}{\cos \theta}\right) (r_1 - r_2)\right]^2 \\ & \left(\frac{2r_2}{\sin \theta} + 8r_2 \cos \theta\right) \cdot 4r_2 \cos \theta + 8r_2 \sin \theta \left\{4r_2 \sin \theta - \left(1 + \frac{1}{\cos \theta}\right) (r_1 - r_2)\right\} = 0 \\ & \sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1 \text{ に注意して整理すると, } \frac{r_1}{r_2} = \frac{1 + 4 \sin \theta \cos \theta + \sin^2 \theta \cos \theta}{\sin^2 \theta (1 + \cos \theta)} \quad \dots \textcircled{4} \end{aligned}$$

$$OO_2 = R - r_2 = \frac{1}{2} \left(1 + \frac{1}{\cos \theta}\right) (r_1 + r_2) - r_2 \quad (\because \textcircled{1}) \text{ で, } OO_3 = OO_2 \text{ であるから,}$$

$$\left(\frac{r_2}{\sin \theta} + 2r_2 \cos \theta\right)^2 + \left[2r_2 \sin \theta + \frac{1}{2} \left(1 + \frac{1}{\cos \theta}\right) (r_1 - r_2)\right]^2 = \left\{\frac{1}{2} \left(1 + \frac{1}{\cos \theta}\right) (r_1 + r_2) - r_2\right\}^2$$

$\sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1$  に注意して整理すると,

$$\frac{r_1}{r_2} = \cos \theta \cdot \frac{\cos \theta + 4 \sin \theta \cos^2 \theta + \sin^2 \theta + 4 \sin^2 \theta \cos \theta - 2 \sin^3 \theta - 2 \sin^3 \theta \cos \theta}{\sin^2 \theta (1 + \cos \theta) (1 - 2 \sin \theta \cos \theta)} \quad \dots \textcircled{5}$$

④, ⑤より,

$$\begin{aligned} & \frac{1 + 4 \sin \theta \cos \theta + \sin^2 \theta \cos \theta}{\sin^2 \theta (1 + \cos \theta)} \\ &= \cos \theta \cdot \frac{\cos \theta + 4 \sin \theta \cos^2 \theta + \sin^2 \theta + 4 \sin^2 \theta \cos \theta - 2 \sin^3 \theta - 2 \sin^3 \theta \cos \theta}{\sin^2 \theta (1 + \cos \theta) (1 - 2 \sin \theta \cos \theta)} \end{aligned}$$

両辺に  $\sin^2 \theta \cos \theta (1 - 2 \sin \theta \cos \theta)$  を掛けると,

$$\begin{aligned} & (1 - 2 \sin \theta \cos \theta) (1 + 4 \sin \theta \cos \theta + \sin^2 \theta \cos \theta) \\ &= \cos \theta (\cos \theta + 4 \sin \theta \cos^2 \theta + \sin^2 \theta + 4 \sin^2 \theta \cos \theta - 2 \sin^3 \theta - 2 \sin^3 \theta \cos \theta) \end{aligned}$$

展開して整理すると,

$$-1 + \cos^2 \theta - 2 \sin \theta \cos \theta + 4 \sin \theta \cos^3 \theta + 12 \sin^2 \theta \cos^2 \theta - 2 \sin^3 \theta \cos \theta = 0$$

$$-1 + \cos^2 \theta = -\sin^2 \theta \text{ であるから,}$$

$$-\sin^2 \theta - 2 \sin \theta \cos \theta + 4 \sin \theta \cos^3 \theta + 12 \sin^2 \theta \cos^2 \theta - 2 \sin^3 \theta \cos \theta = 0$$

$$\text{両辺を } \sin \theta \text{ で割ると, } -\sin \theta - 2 \cos \theta + 4 \cos^3 \theta + 12 \sin \theta \cos^2 \theta - 2 \sin^2 \theta \cos \theta = 0$$

$$\sin^2 \theta = 1 - \cos^2 \theta \text{ を代入すると, } -\sin \theta - 2 \cos \theta + 4 \cos^3 \theta + 12 \sin \theta \cos^2 \theta - 2(1 - \cos^2 \theta) \cos \theta = 0$$

$$\sin \theta \text{ について解くと, } \sin \theta = \frac{4 \cos \theta - 6 \cos^3 \theta}{12 \cos^2 \theta - 1}$$

$$\sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1 \text{ より, } \left(\frac{4 \cos \theta - 6 \cos^3 \theta}{12 \cos^2 \theta - 1}\right)^2 + \cos^2 \theta = 1$$

$$\text{分母を払って整理すると, } (-1 + 5 \cos^2 \theta)(1 - 36 \cos^2 \theta + 36 \cos^4 \theta) = 0 \quad \therefore \cos^2 \theta = \frac{1}{5}, \quad \frac{3 \pm 2\sqrt{2}}{6}$$

$$\text{題意に適するのは, } \cos \theta = \frac{1}{\sqrt{5}} \quad \text{このとき, } \sin \theta = \frac{2}{\sqrt{5}}$$

$$\text{これらを④に代入すると, } \frac{r_1}{r_2} = \frac{1+4 \cdot \frac{2}{\sqrt{5}} \cdot \frac{1}{\sqrt{5}} + \left(\frac{2}{\sqrt{5}}\right)^2 \cdot \frac{1}{\sqrt{5}}}{\left(\frac{2}{\sqrt{5}}\right)^2 \left(1 + \frac{1}{\sqrt{5}}\right)} = \frac{13\sqrt{5} + 4}{4(\sqrt{5} + 1)} = \frac{61 - 9\sqrt{5}}{16}$$

よって、大円径 =  $\frac{61 - 9\sqrt{5}}{16} \cdot (\text{小円径})$

**補足** ①より,  $R = \frac{8 + 17\sqrt{5}}{8} r_2$

(2021/10/10 ジョーカー)